

# 大阪城

2024  
4/15  
(月)  
14443  
号

全港  
西成分会

264  
6647-  
4947

春にたり。気温も10度く20度の過ごさず、  
環境になつてきた。心配性の人は、長い夏が如まる  
ネーとかいうが、しばらくは春の自然で、空気を味わ  
たいものです。

明日には、新年度はじめの政治斗争になる。衆院  
補選の告示がされる。東京15区、長崎3区、島根  
ノ区で、4/28(日)に投票示だが、自民党は、東京、長崎  
は、はなから候補者を立てず敗戦で、候補は島根岸  
だ。岸田首相は、1週間のアメリカ旅行を終え帰っ  
てきたようだが、アメリカから見れば「カモネギ」状態だ、  
たといえそうだ。軍事面で、アメリカと一緒になり  
「中国包囲」で戦うという、科挙技術では共同一体化  
という下請構造にくみ込まれていきそうである。  
日本の国家としての、自立的、独自性を失うような  
アメリカとの一体化、共同体化が進んでいきそうだ。  
国会は、6/23までの予定であり、岸田首相の自民党  
総裁の任期は9月に終るので、それまでは、国民に信  
問う……といっているので、解散・総選挙に出る  
ことを予想されている。先日、国会議員の総選  
挙の韓国では、尹大統領の政権与党が大敗して、  
韓国の外交や政治も変わっていくそうだ。日本社会も  
人口減少、高齢化、少子化、分断社会、この話は聞かない。

# 霧中の大阪万博 開幕まで1年

建設遅れるパビリオン 開催まで残り1年に迫る大阪・関西万博。しかし、万博の目玉となるはずの海外パビリオンの建設は、今も遅れている。その背景には何があるのか。運営主体である日本国際博覧会協会（万博協会）の関係者らの証言をたどると、たとえ万博の魅力が薄れてでも開幕に間に合わせようと奔走する協会幹部らの姿が浮かぶ。朝日新聞デジタル4/12  
「現実を直視して！」訴えた万博事務方トップ

4月13日、開幕1年前と云うことでテレビ各局が特番報道していました。大阪万博課題・難題てんこもりで「だいたいようぶかいな」と各方面で批判と指摘されています。

それにしても工事現場の様子をみるにつけ「あと一年で完成」なんてどだい無理」「どないする気やる」「無理して事故おこさんばいいけど」とおもってしまふ現状です

西成の日雇労働者の市場に  
関係しているのは「万博関連の仕事がまわってきていない」ということ。当初期待されていたようにはなっていないのですが、どこもかしこも「人手不足」が叫ばれている中あと一年で多少の動きがあるのだろうか。

55年前の70年万博となんでこんなにちがうのか。建設産業・建設労働、求人求職のシステムも変化しているようですが、とれもうまくいっていないようです。